

# 総括 質疑

9月定例会では、決算審査特別委員会において各会派の代表が、平成30年度決算について一問一答方式による質疑を行いました。  
ここでは、その質疑の一部を掲載します。

## (決算審査特別委員会小委員会での審査)



### 福祉

石井 啓子

公明党

**問** 高齢者や障がいのある方へのゴミ出し支援であるふれあい収集は、要介護1、2、3が対象と聞く。ニーズがある要支援1、2も対象に入れる必要があると思うがどうか。

**答** ケアマネージャーへのアンケート調査から、まずは要介護1、2、3の方を対象に、試験的に導入するが、今後、対象区分の拡大なども含め、福祉部局と十分協議し、本格導入を目指して制度を確立していきたい。



### 教育

白石 多津子

平成西山クラブ

**問** 人権教育の一環として、LGBTの正しい知識を児童生徒が身につけることが必要と考える。本市の小学校では、どのような取り組みをしているのか。

**答** LGBTについての学習等を、小学校では、昨年度4校で実施し、本年度は6校で実施する予定である。また、中学校については、昨年度に引き続き、全中学校で実施する予定である。



### 地域振興

小野 洋史

平成自由クラブ

**問** 現在、学校給食への地元農産物の納入状況は、中学校では5品目、小学校では12品目となっていて、中学校は小学校に比べて少ないが、今後ふえていく予定はあるか。

**答** 中学校へ納める野菜の品目は、長岡京市地産地消推進協議会の食育給食部会で判断し、まずは主力の5品目からスタートしている。今後は、供給体制を整えながら、徐々に品目をふやしていきたい。



### 上下水道

山本 智

公明党

**問** 下水道管は、劣化し水が漏れても水道管のようにすぐには発見できない。放置すれば管自体が崩壊し、道路陥没につながることもある。事前の対策が必要だと思うが対応は。

**答** 古い管渠に対してテレビカメラ調査を実施し、主要幹線は改築や更新等を行い、対策を完了している。今後は、30年以上経過の枝線についてもカメラ調査を行い、令和4年度から改築工事に着手する予定である。



### 福祉

小谷 宗太郎

日本維新の会と市民派の会

**問** 小児救急医療体制は、輪番制であり、救急車を呼んでも京都市が当番なら30分以上かかる場合がある。済生会京都府病院移転に伴い、体制の改善を図るべきと考えるがどうか。

**答** 市内の病院だけでは小児救急医療体制の確保が厳しく、広域的な対応は必要である。新しい済生会病院では、一次救急と二次救急の一体的整備を図り、最大の課題である小児科医の確保も含め要望していきたい。



### 都市整備

上村 真造

平成西山クラブ

**問** 調子八角の交差点はかなりの交通量があり、通勤通学の時間帯は非常に混雑している。以前、スクランブル化も要望したことがあるが、スクランブル化についての市の考えは。

**答** スクランブル交差点は、歩行者の巻き込み事故は防げるが、渋滞をさらに発生させる場合もある。まずは、スクランブル化が必要かの調査のため、京都府、公安委員会、地元自治会等との協議を進めていきたい。



### 行財政

富岡 浩史

平成自由クラブ

**問** 平成30年度決算は、財政健全化法に基づく4指標については良好な数値であったが、単年度収支と実質単年度収支が赤字となった。この赤字に対する市の考えを問う。

**答** 将来の安定的な運営のために、庁舎建設基金への積み立てをしたことが赤字決算となった大きな要因と考えている。丁寧な説明をすることで、市民の懸念や不安の払拭に努めていきたい。



## 地域振興

宮小路 康文

### 輝(かがやき)

問 公園に対する住民ニーズは多様である。他市では民間事業者の活用で、地域ブランドの向上に成功した例もある。本市でも検討してはどうか。

答 これからの都市公園は、住民ニーズに対応し、サービスの質を高めることが必要である。今年度から西山公園、勝竜寺城公園、西代里山公園の3公園でキッチンカーを試験的に導入しており、その動向も踏まえて、他市事例も調査研究していきたい。



## 防災

綿谷 正巳

### 輝(かがやき)

問 本市では、業務継続計画の作成作業を行っている。以前は、総務省から出ている重要な6要素のうち、1つは事務局案ができていたとのことであったが、現在の状況はどうか。

答 現在は、6つ目の要素である非常時優先業務の整理以外については、事務局案ができています。今年度末には、非常時優先業務の整理もあわせた事務局案を地域防災会議に諮り、業務継続計画を完成させたい。



## 都市整備

進藤 裕之

### 輝(かがやき)

問 昨年度の本市と警察との協議の結果、JR長岡京駅東口駅前広場基本計画に見直しが生じたとのことだが、見直しの内容はどのようなものか。

答 現在の交通動線を基本とし、車道に自転車通行帯の設置や、バス等車両停車部のカラー化と合わせて、ロタリーの拡幅を検討している。また、歩道内は自転車に乗っての通行は不可能との結論になったため、現在同様、押して歩く通行方法となる。



## 防災

広垣 栄治

### 日本共産党

問 平成30年度には、避難所が5回開設された。合計で470名の方が避難され、そのうち1名とその家族は、福祉避難所に避難された。福祉避難所が必要と判断した理由を問う。

答 福祉避難所は、一般の指定避難所での避難生活が困難な要配慮者で、特別な配慮が必要な方のために二次的に開設するものであり、当時の巡回ヒアリングの中で、特別な配慮が必要と判断したため、開設した。



## 福祉

二階堂 恵子

### 日本共産党

問 新田保育所が移転し、5月から開所されたが、不具合が幾つか出ている。また、保育士や保護者からも意見が出ていると聞いているが、その内容が担当課に伝わり、改善ができていくのか。

答 保護者などからの意見や要望書は、新田保育所に出ており、担当課でも把握している。今後、保育所と担当課で連携しながら、対応できるものについては対応していく。



## 福祉

浜野 利夫

### 日本共産党

問 平成30年度決算において、本市のケースワーカーの担当世帯数は1人あたり87・5世帯だったと聞く。新年度に向けて、ケースワーカーの増員は考えていないのか。

答 社会福祉法には、被保護世帯数に応じてケースワーカーの法定標準数などが定められている。現状の体制は、社会福祉法に定められているケースワーカー数を満たしており、現段階では、増員の検討はしていない。



## 公共施設

寺嶋 智美

### 平成市民クラブ

問 本市は緑豊かな歴史のまちである。新市庁舎や周辺施設に、長岡京らしい緑と歴史の調和を象徴するように、西山の木材の活用を考えて欲しいが市の見解は。

答 庁舎建設には一定以上の木材が必要となるが、西山の木材は、なりわいとして成り立つような間伐はしておらず、安定供給が見込めないため難しい。備品や消耗品への活用を進めていく方向で検討している。



## 都市整備

中小路 貴司

### 平成市民クラブ

問 アゼリア通りは、阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の中で、市民や来訪者が安心して楽しく買い物ができる市の中心の商業軸の形成を目指すところ。歩行空間の創出についての市の考えは。

答 アゼリア通りは、新景観計画の中でも沿道軸に位置付けている。その中の景観形成基準は、建物をセットバックして、周囲に圧迫感を与えないようにすることとしている。